

『Mind Charging』

第 238 回 発行：入試広報室 発行日：令和 3 年 3 月 17 日

バカリズムの名言



**僕自身が成功者だとは全く思っていないので
あまり大したことは言えないですけど、自分の好きなことは
気が済むまでやればよいと思います。**

人それぞれ『気が済むまで』という基準は違うと思いますが、100年時代と言われる現代において高校生であるみなさんには絶対的な“時間”が不足しているという理由で気が済むまでやれていないということはたくさんあると思います。そういう意味では気が済むまで“やりたいこと”に出会っていない場合さえあると考えます。

気が済むまでやりたいと思うようなことは、本来は他のことには目もくれず“一心不乱”に取り組みたいほどのことだと思いますが、みなさんのこれまでの人生を思い出してください。年々忙しくなってきましたか？ということは、今後もさらに忙しさは増していくことは決定的ですから他の何かと同時進行しながら取り組む必要があります。バカリズムさんはこの言葉に繋がるコメントとして『最悪バイトしながらでも好きなことをやっていけたらいいな、くらの感覚でずっとやってきた。』と述べています。そう考えると、気が済むまでやるためには、そのための“環境づくり”が重要だということがわかります。それだけに集中して没頭できればそれがベストなのかもしれませんが、現実と照らし合わせると、それは無理があるわけで、それを理解した上で彼の下した決断は『焦らずコツコツ積み上げる』ということだったのだと思います。

取り組みが終わってからも“やったことがある”ではなく“やっていました”と言えることが一つでもあると、それが自分の自信になると思います。みなさんにも生活の一部になるレベルの好きなことが見つかると、気が済むまでやりきること大きな自信と“ずっと楽しめること”を手に入れてほしいと願っています。(編集委員：入試広報室 鈴木)

バカリズム(本名：升野 英知、ますの ひでとも、1975年11月28日 -)は、日本のお笑いタレント、ナレーター、司会者、脚本家、俳優、作詞家。マセキ芸能社所属。かつて1995年から2005年までは升野英知と松下敏宏によるお笑いコンビの名称であったが、松下の脱退後は升野がコンビ名を芸名として引き継いでおり、現在では『バカリズム』は升野個人を表す名称になっている。妻は元でんば組.incの夢眠ねむ。(Wikipedia 参照)